

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

大同江に新型のボートが登場

2019年11月1日付『朝鮮新報』によれば、同年10月10日から、平壤市の大同江で新しい遊覧ボートの供用が開始された。遊覧ボートには4人乗りのほか、6人乗り、9人乗りがあり、中央にテーブルが備え付けられているのが特徴である。動力はバッテリーで照明も設置されており、夜景を楽しむこともできるとのことだ。

山林機資工場が竣工

2019年11月11日付『朝鮮中央通信』によれば、同月10日、育苗場に必要機器類を主に生産する山林機資材工場の竣工式が行われた。

第14回平壤秋期国際商品展覧会開催

2019年11月15日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が平安南道陽徳郡の陽徳温泉文化休養地建設現場を視察した。同年10月23日に訪問後、1カ月も経たない今回の訪問で、前回の訪問時に指摘された点をしっかりと直したことに、朝鮮人民軍の軍人建設者たちを高く評価した。

体育関連のゲームが人気

2019年11月15日付『朝鮮新報』によれば、同年9月からテヨン情報技術交流所が電子体育サービス(ゲーム等)を始めており、スマホ向けサッカーゲーム「国際サッカー連盟」ver. 1.0が現在最も人気を博しているとのことである。同ゲームはBluetooth機能を利用して、スマホ同士で対戦することもできるとのことだ。

国際数学オリンピックで13年連続金メダル

2019年11月15日付『朝鮮新報』によ

れば、同年7月に英国で開かれた第60回国際数学オリンピック大会で、北朝鮮代表が13年連続金メダルを受賞したとのことだ。

北朝鮮各地で移動式生け簀養魚が拡大

2019年11月15日付『朝鮮新報』によれば、2013年に平壤市の大同江に設置されて以来、生け簀養魚が始まり、2015年11月以降は移動式生け簀養魚が同じく大同江で始まったが、近年全国各地に拡大しており、現在延面積15万平方メートルの移動式生け簀養魚が行われているとのことである。

全国化粧品展示会が開かれる

2019年11月18日付『朝鮮新報』によれば、同月11日～18日、平壤市の平壤駅前百貨店で第1回目の全国化粧品展示会が行われ、盛況を博したとのことである。

金正恩国務委員長が朝鮮人民軍8月25日水産事業所と文川魚加工事業所を訪問

2019年11月19日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が朝鮮人民軍8月25日水産事業所と新たに建設された江原道文川市の文川魚加工事業所を訪問した。金正恩委員長は8月25日水産事業所には2013年に2回、16年に1回訪問している。

平壤で「秋季全国靴展示会 -2019」が開かれる

2019年11月21日付『朝鮮新報』によれば、同年10月18日～24日、平壤市の平壤駅前百貨店で「秋季全国靴展示会 -2019」が開かれ(これが3回目)、50強の専門単位が出品し、延べ2万人の人数があったとのことである。

両江道三池淵郡でジャガイモの大豊作

2019年11月21日付『朝鮮新報』によれば、両江道三池淵郡では例年のないジャガイモの大豊作で、1ヘクタールあたりの収穫が昨年より平均5トン増産となったとのことである。

金日成総合大学自然博物館と先端技術開発院が竣工

2019年11月30日付『朝鮮中央通信』によれば、金日成総合大学自然博物館と先端技術開発院が竣工し、同月28日竣工式が行われた。

両江道三池淵郡邑地区の竣工式—金正恩国務委員長がテープカット

2019年12月3日付『朝鮮中央通信』によれば、両江道三池淵郡邑地区の竣工式が行われ、金正恩国務委員長が参加してテープカットが行われた。

金正恩国務委員長が咸鏡北道鏡城郡の仲坪野菜温室農場と同育苗場の操業式に参加

2019年12月4日付『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が咸鏡北道鏡城郡の仲坪野菜温室農場と同育苗場の操業式に参加し、テープカットを行った。同農場は、軍人建設者が建設した最新式の野菜温室である。

金正恩国務委員長が平安南道陽徳郡の陽徳温泉文化休養地竣工式に参加

2019年12月8日付『朝鮮中央通信』によれば、同月7日、金正恩国務委員長が平安南道陽徳郡の陽徳温泉文化休養地竣工式に参加し、テープカットを行った。

両江道三池淵郡が市に昇格

2019年12月11日付『朝鮮中央通信』によれば、同月10日、両江道三池淵郡を三

池淵市にする最高人民会議常任委員会政令が発された。

金正恩國務委員長が先端戦術兵器試験を指導

2019年12月22日発『朝鮮中央通信』によれば、朝鮮労働党中央軍事委員会第7期第3回拡大会議が開かれ、金正恩朝鮮労働党中央委員長兼同委員会委員長が参加し、指導した。

朝鮮労働党中央委第7期第5回全体会議(総会)開催

2019年12月29日、30日、31日、2020年1月1日付『労働新聞』によれば、朝鮮労働党中央委第7期第5回全体会議(総会)が平壤市の朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で行われた。金正恩朝鮮労働党中央委員長が出席し、会議を主宰した。総会には、朝鮮労働党中央委員会の委員、委員候補と党中央検査委員会の委員が参加した。また、党中央委員会の活動家と省、中央機関の活動家、道人民委員長、道農業経営委員長、市・郡党委員長、重要部門と単位、武力機関の活動家が、オブザーバーとして出席した。

総会には、次のような議案が上程された。

1. 醸成された対内外形勢の下でわれわれの当面の闘争方向について
2. 組織問題について
3. 党中央委員会のスローガン集を修正、補充することについて
4. 朝鮮労働党創立75周年を盛大に記念することについて

第1議題について、金正恩委員長は米国の態度について「米国の本心は対話と協定の看板を掲げて曖昧な態度を取りながら自分らの政治的・外交的利益をむさぼると同時に、制裁を引き続き維持してわれわれの力を次第に消耗、弱体化させることである」と断じ、「われわれはわが国家の安全と尊厳、そして未来の安全を何とか絶対に交換しないことをさらに固く決心した」「経済建設に有利な対外的環境が切実に必要なのは事実であるが、決して華麗な変身を願って今まで生命のごとく守ってきた尊厳を売り払うことはできない」と強

調した。そのうえで、「米国との長期的対立を予告する当面の現情勢はわれわれが今後も敵対勢力の制裁の中で生きていかなければならないことを既定事実化し、各方面で内部の力をより強化することを切実に求めている」と明らかにした。そして、それに対して「われらの前進を妨げるあらゆる難関を正面突破戦によって切り抜けていこう」をスローガンとし、「正面突破戦で基本部門は経済部門である」と述べ、国家経済活動システムの中核である内閣責任制、内閣中心制を強化するための根本的な方途について明らかにした。また、対米政策について「米国による核脅威を制圧し、われわれの長期的な安全を裏付けられる強力な核抑止力の経常的動員態勢を恒常的に頼もしく維持するであろうし、われわれの抑止力強化の幅と深度は米国の今後の対朝鮮立場によって調整される」と言及した。

経済については、「経済の発展を促し、活動家の役割を強められるように全般的な機構システムを整備するための革新的な対策と具体的な方途」「それに基づいて経済管理を改善するための活動を強く推し進められる現実的な方途」が金正恩委員長によって明らかにされた。

人民経済の主要工業部門については、金属工業、化学工業、電力工業、石炭工業、機械工業、建材工業、鉄道運輸、軽工業が例示され、各部門に山積している弊害と不振状態を全面的に分析し、経済活動に新たな前進をもたらすための科学的で実質的な対策が提示された。

第2議案である組織問題が取り扱われ、まず党中央委員会の政治局委員、委員候補を召還および補欠選挙した。その結果、李日煥、李炳哲、金徳訓の各氏を党中央委員会政治局委員に補欠選挙した。金正官、朴正天、金衡俊、ホ・ Cholマン、リ・ホルム、キム・イル Cholの各氏を党中央委員会政治局委員候補に補欠選挙した。

次に、党中央委員会の副委員長を解任および選挙した。李日煥、金衡俊、李炳哲、金徳訓の各氏を党中央委員会副委員長に選挙した。党中央委員会の委員、委員候補を召還および補欠選挙した。金衡俊、韓光相、姜宗官、金光哲、金京準、

楊勝虎、クァク・チャンシク、パク・ウァンジュ、パク・ミョンス、李逢春、松碩元の各氏を党中央委員会の委員候補から委員に、ホ・ Cholマン、リ・ホルム、呉日晶、金英敏、キム・イル Chol、キム・ジョンホ、ソン・ヨンフン、リム・グァンイル、崔相建の各氏を党中央委員会委員に直接補欠選挙した。また、チャン・グァンミョン、チョン・ヒョン Chol、シム・ホンビン、リ・テイル、チェ・グァンイル、リ・ワンシク、リ・ヨン Chol、チェ・チュンギル、キム・ハク Chol、キム・ Chol、パク・ジョングン、チョン・ハク Chol、チョ・ヨンドク、シン・ヨン Chol、キム・スンジン、ムン・ジョンウン、リ・ジョンギル、チェ・ソンナム、チョン・ヒョンギル、カン・ソン、キム・ヨンベ、キム・ギリョン、シン・ホン Chol、キム・ヨンナムの各氏を党中央委員会の委員候補に補欠選挙した。

その後、党中央検閲委員会委員長の選挙および委員の召還、補欠選挙が行われた。李象元氏を党中央委員会検閲委員会の委員長に選挙した。

あわせて、党中央委員会の一部部署の部長を解任および任命が行われ、李日煥、キム・ヒョンジュン、崔輝、李炳哲、金徳訓、崔富一、ホ・ Cholマン、リ・ホルム、韓光相、呉日晶の各氏を党中央委員会の部長に任命した。党中央委員会の第1副部長が任命され、キム・ドンイル、李永吉、金与正、李英植の各氏を党中央委員会の第1副部長に任命した。

道党委員長を解任および任命が行われ、キム・ヨンファン氏を両江道党委員長に任命した。

国家機関の幹部を解任および任命が行われ、キム・イル Chol氏を内閣副総理兼国家計画委員長に、チョン・ハク Chol氏を石炭工業相に、チョン・ミョンシク氏を文化相に、キム・スンジン氏を国家科学院院長に任命した。

総会では、第3議案として党中央委員会のスローガン集を修正、補充することに関する問題を討議、決定し、第4議案として朝鮮労働党創立75周年を盛大に記念することに関する問題を討議し、当該の決定を採択した。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘